

株式会社 JVCケンウッド

2021年1月14日

新たに「音声コマンド機能」を搭載した特定販路向け 2 カメラドライブレコーダーの新ラインアップ

前後撮影対応 2 カメラドライブレコーダー「DRV-MR760D」を発売

～レンタカー・カーリース・タクシー・トラックの車両管理者に向け、長時間・駐車録画対応の車載電源ケーブルを付属～

株式会社JVCケンウッドは、ケンウッドブランドより特定販路向けスタンドアロン型ドライブレコーダーの新ラインアップとして、前方と後方の同時録画に対応した前後撮影対応 2 カメラドライブレコーダー「DRV-MR760D」を3月中旬より発売します。

品名	型番	希望小売価格（税込）	発売時期
スタンドアロン型 前後撮影対応 2 カメラドライブレコーダー	DRV-MR760D	オープン価格	3月中旬

* 本商品は特定販路での販売となります。詳細は各販売店までお問い合わせください。

**<企画背景と製品の概要>**

昨年6月に改正道路交通法が施行されたことを受け、ドライブレコーダーは自動車の運転における万が一のトラブルを録画するとともに、ドライバーの身を守るための装備としてさらに必要性が高まっています。これに伴い、営業車などのリース車両やレンタカーを提供する企業の車両管理者、タクシー・トラック事業者などの運送業者においてもドライブレコーダーは必須の装備となりつつあり、中でも“あおり運転”に対応するため前方と後方の映像を記録できる2カメラモデルへの需要が急激に高まっています。

そこで当社は、特定販路向け 2 カメラドライブレコーダーの新ラインアップとして「DRV-MR760D」を発売します。本機は、レンタカーやカーリース、タクシーやトラックなどの車両管理者のニーズに応え、最大容量 128GB の microSD カードに対応し、最長 43 時間の長時間録画が可能です。さらに駐車録画に対応する車載電源ケーブルを付属し、車室内のシガープラグを使用せずにスッキリとした設置を可能にするとともに、確実な電源供給を実現します。

また、運転者に向けた装備として、走行中に「録画開始」と発話すると、ハンドルから手を放さずに緊急的に手動録画を開始できる「音声コマンド機能」を新たに搭載。さらに、「運転支援機能」に前方の割り込み運転や後方からの急接近などの“あおり運転”を検知し、警告音と画面表示で知らせるとともに、自動で録画を開始する機能を追加しました。これらの録画映像は常時録画とは違うイベント記録フォルダ（書き換えがされない専用フォルダ）に記録します。

当社は本機を、車両管理者の保有車両の保全・管理を助けるツールのひとつとして、さらには車両利用者の安心・安全に貢献できるツールのひとつとして提案します。

<「DRV-MR760D」の主な特長>

- 1. メインユニット（前方用カメラ）と後方用の 2nd カメラで、前方・後方の同時録画に対応**
自車の前方に加え、後方の車の動きなど、前後の状況を同時に録画できます。
- 2. 車両から直接電源を供給できる「駐車録画」に対応した車載電源ケーブルを付属**
車両から直接給電できる車載電源ケーブルを付属。車室内のシガープラグを使用せず、スッキリとした設置を可能にするとともに、エンジン OFF 時に衝撃を検知すると録画を開始する「駐車録画」に対応しています。
- 3. ハンドルから手を放さずに音声で録画開始などの操作ができる「音声コマンド機能」を新搭載**
走行中、ユーザーがハンドルから手を放さずに、発話によって主な基本操作を行うことができる「音声コマンド機能」を搭載しました。音声コマンドは、緊急時などに手動録画を開始できる「録画開始」のほか、静止画撮影ができる「写真撮影」、表示画面を切り替えられる「表示切替」に対応します。
- 4. 「運転支援機能」に前方の割り込み運転や後方急接近などの“あおり運転”の検知機能を追加**
「運転支援機能」に前方の割り込み運転や後方急接近などのあおり運転検知機能を追加（詳細後述）。前方車が割り込み運転や蛇行運転を繰り返すと、ドライバーに警告音と画面表示で知らせるとともに、設定により自動的に録画を開始します。
- 5. 万が一の際に迷わず、すばやく押して録画を開始できる「緊急イチ押し録画ボタン」を搭載**
万が一の際に迷わず、すばやく手動録画を開始できる大きな「緊急イチ押し録画ボタン」を本体底面に搭載。ボタンを押すだけで録画をスタートでき、また録画映像は書き換えがされない専用フォルダに自動的に保存します。
- 6. フルハイビジョン録画に対応、走行時の映像をより高精細に録画**
メインユニットの前方用カメラに加え、後方用カメラもフルハイビジョン録画に対応。ナンバープレートや標識など、走行時の映像をより細部まで高精細に録画します。
- 7. 「HDR 機能」を搭載し、トンネルの出入り口など明暗差の大きなシーンで安定した映像録画が可能**
前方用カメラに加え、後方用カメラにも「HDR（ハイダイナミックレンジ）機能」を搭載。逆光やトンネルの出入り口、夜間走行時の照明など、明暗差が激しい環境時に起きやすい「白とび」や「黒つぶれ」を抑え、安定した映像を録画します。
- 8. 24 時間 365 日の長時間「駐車録画」に対応**
付属の車載電源ケーブルを使用して、24 時間 365 日の駐車録画に対応します。駐車中、前方用カメラに内蔵の G センサーが振動を検知すると、ドライブレコーダーが起動して前後 2 台のカメラで撮影した映像を記録（1 ファイル 60 秒）。その後、「駐車録画」専用フォルダに保存します。微小な暗電流を使用するためバッテリーへの負担を抑えます。
- 9. 駐車中の衝撃検知からシーンの撮り逃しを防ぐ「高速起動」に対応**
従来モデルと比べて「駐車録画」の起動時間を短縮しました。乗車直後や駐車中の衝撃を検知時に、より素早く起動して撮り逃しを防ぎます。
- 10. 最長約 43 時間^{※1}の長時間録画が可能**
フレームレートを通常の 27.5fps から 13.7fps（長時間モード 1）、3.4fps（長時間モード 2）に変更が可能。最長約 43 時間^{※1}の長時間録画が可能です。
※ 1：microSD カード 128GB を使用して HD 録画/3.4fps の場合。
- 11. さまざまな車両状況を記録できる 4 つの録画機能を搭載**
 - 1) 常時録画**
エンジンの ON/OFF に連動して、本体の電源 ON/OFF の手間なく自動で録画がスタート/ストップします。
 - 2) イベント記録**
G センサーの搭載により、突発的な衝撃や急激な速度変化などを検知すると、自動的に録画を開始し、イベント記録専用のフォルダ（書き換えがされない専用フォルダ）に記録します。
 - 3) 手動録画**
常時録画中でも、必要に応じて手動で録画ボタンを押すと、常時録画とは違うイベント記録フォルダにデータが記録されるため、データの呼び出しや保存がしやすくなります。

4) 駐車録画

付属の車載電源ケーブルを使用することで、最大 24 時間の長時間駐車録画に対応（前述参照）。

12. ドライブをサポートする 8 つの「運転支援機能」を搭載、新たに“あおり運転”を検知する 3 機能を追加

1) “あおり運転”検知機能（新搭載）

・前方割込警告

走行中に車両前方 10m 以内に車両を検出すると、画面表示と警告音で知らせイベント記録を開始します。

・前方蛇行運転警告

走行中に車両前方 20m 以内で車両が車線内の蛇行をしていた場合に、画面表示と警告音で知らせイベント記録を開始します。

・後方急接近警告

走行中に車両後方 5m 以内に 3 秒以上車両が接近したことを検出すると、画面表示と警告音で知らせイベント記録を開始します。

2) 従来からの運転支援機能

・前方衝突警告

時速 30km 以上で走行中、自車と前方の車との距離を検出し、安全な距離が保たれていない場合に、画面表示と警告音で知らせます。

・車線逸脱警告^{※2}

時速 60km 以上で走行中、現在の車線からはみ出してしまった際に、画面表示と警告音で知らせます。

※2：片側 2 車線以上の道路で、車線変更を行う際にも動作します。速度は目安です。

・発進遅れ警告

自車が停止中、前方車両の発進に対し自車の発進遅れを検出した場合に、画面表示と警告音で知らせます。

・リフレッシュ通知機能

連続運転を長時間続けると画面表示と警告音で知らせるリフレッシュ通知機能を搭載。ドライバーの安全運転をサポートします。

・エコドライブ表示機能

G センサーにより車の動きを検知し、運転の仕方を自動診断します。診断結果はアイコン表示で知らされるため、エコドライブの参考にできます。

<その他の主な特長>

- ・夜間の走行映像にも配慮した F1.8 の明るいレンズを採用
- ・SD カードのエラーを未然に防止する「SD カードメンテナンスフリー機能」^{※3}を搭載
 - ※3：録画設定の変更や SD カードの状態によってはフォーマットが必要です。
- ・最大容量 128GB の microSD カードの録画に対応
- ・「イベント記録」「駐車録画」の際に衝撃検知を可能とする前後、左右、上下の 3 軸「G センサー」を搭載
- ・高感度「GPS」や測位衛星受信回路の搭載により自車位置を記録し、PC 用連携ソフトで走行記録の確認が可能
- ・LED 信号機の点灯周期と干渉しないフレームレート設定で、LED 信号機の無点灯記録を防止
- ・テレビ放送への電波干渉を抑える「地デジ干渉対策」
- ・万が一の車両電源のアクシデントからファイル破損を防ぐバックアップ電源「スーパーキャパシター」を搭載
- ・前後 2 画面の映像を液晶ディスプレイですばやく切り替える「画面切り替え機能」を搭載
- ・長時間録画に対応した「大容量 32GB microSDHC カード」を付属
- ・一律 4 万円の補償金が支払われる交通事故時ドライブレコーダー買替補償金制度に対応^{※4}
 - ※4：支払条件等の詳細はドライブレコーダー協議会のホームページをご確認ください。
- ・Windows®/Mac PC で詳細なドライブ情報を確認できる専用ビューアソフト「KENWOOD ROUTE WATCHER II」を用意

<主な定格>

			DRV-MR760D
本体仕様	メインユニット	電源電圧	DC14.4V (8.5V ~ 16V:12V 車載電源ケーブル付属)
		録画時消費電流 (最大)	400mA (650mA)
		測位衛星	GPS
		G センサー	-3.0G~+3.0G : 6 段階
		液晶サイズ	2.7 型 フルカラー-TFT 液晶
		撮像素子	1/2.7 型 フルカラー-CMOS
		最大録画画角	水平 : 約 126°/ 垂直 : 約 63°/ 対角 : 約 150°
		F 値	F1.8
		動作温度範囲	-10℃~+60℃
	2ndカメラ	撮像素子	1/2.7 型 フルカラー-CMOS
		最大記録画角	水平 : 約 126°/ 垂直 : 約 63°/ 対角 : 約 150°
		F 値	F1.8
動作温度範囲		-10℃~+60℃	
撮影関連仕様	記録解像度 (最大)		Full-HD (1920 × 1080) (動画最大約 207 万画素)
	フレームレート		27.5 / 13.7 / 3.4 fps
	記録方式		常時録画/イベント記録/手動録画/駐車録画 ^{※5,※6}
	常時録画ファイル単位		1 分 (標準)、2 分 (長時間 1、長時間 2)
	録画フォーマット (動画)		H.264 (MP4)
	録画フォーマット (静止画)		JPEG 準拠 (最大 : 1920 × 1080)
	記録映像再生方法		本体、もしくは Windows [®] 標準の Windows Media Player など。専用ビューアソフト対応(当社ホームページよりダウンロード) ^{※7}
記録メディア		microSD カード 16GB ~ 128GB 対応 Class 10 以上	
寸法等	外形寸法 (約) (W×H×D)	メインユニット	89.0mm×50.0mm×38.3mm (ブラケット取り付け時高さ : 最大 84.0mm)
		2ndカメラ	60.0mm×25.0mm×28.6mm (ブラケット (テープ貼付け) 装着時高さ : 最大 53.0mm)
	質量 (約) (重さ) (ブラケット/ケーブル含まず)		<メインユニット> 112g(microSDHC カード含む) <2nd カメラ> 35g
	電源ケーブル長		3.5m (電源ケーブル)
	接続ケーブル長		8.0m (車外後方カメラ用ケーブル)

※5 : 撮影タイミングはメインユニット(前方用カメラ)に連動します。

※6 : 駐車録画時の衝撃検知はメインユニット (前方用カメラ) が検知した場合に作動します。

※7 : 対応 OS:Microsoft Windows 8.1/10(32/64bit)、Apple Mac OS X 10.13 以上。ビューアソフトは最新バージョンをお使いください。

<商標について>

●Windows®、Windows Media Player は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。●「Mac OS」は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。●「リアレコ」「KENWOOD ROUTE WATCHER」は、株式会社 JVC ケンウッドの商標または登録商標です。●その他、記載されている会社名、製品名は各社の商標および登録商標です



リアレコ

<「DRV-MR760D」>

本件に関するお問い合わせ先

【報道関係窓口】 株式会社 JVCケンウッド 企業コミュニケーション部 広報・IR グループ
TEL : 045-444-5310 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町三丁目 12 番地
【お客様窓口】 JVC ケンウッドカスタマーサポートセンター
TEL : 0120-2727-87 (固定電話からはフリーダイヤル) /
0570-010-114 (携帯・PHS からはナビダイヤル) / 045-450-8950 (一部 IP 電話)

本資料の内容は発表時のものです。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

www.jvckenwood.com